

新規事業採択時評価結果（平成29年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業の概要

事業名	一般国道20号 日野バイパス（延伸）Ⅱ期	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：東京都日野市西平山三丁目 至：東京都八王子市北野町	延長	1.5km		
事業概要					
<p>国道20号日野バイパス（延伸）は、日野市及び八王子市域を東西につなぐ幹線道路で、八王子南バイパスと一体となり圏央道と両市域を結ぶアクセス道路としての機能や、国道20号（甲州街道）や並行する北野街道等の交通混雑の緩和及び交通事故の減少に伴う地域の安全性の向上を目的とした、延長約3.8kmのバイパス事業である。日野バイパス（延伸）Ⅱ期は、日3・4・24号線から国道16号までを結ぶ延長1.5kmの事業である。</p>					
事業の目的、必要性					
<p>市街地に用いない通過交通が減少し、交通渋滞の緩和により、工業集積地の物流生産の向上を支援するとともに、高度医療施設への救急搬送の速達性の向上、代替路線として災害時のアクセス向上を図る。</p>					
全体事業費	約300億円	計画交通量	約24,700～42,800台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
<p>【東京都知事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算化について同意する。 ・東京都多摩地域は災害時の救急救援活動を担う幹線道路の整備が緊急の課題であり、当該区間は、並行する道路の渋滞緩和、物流生産性向上、災害時のアクセス性向上等の効果が期待される。 ・また、土地区画整理事業との連携によりまちづくりの支援を図るとともに、八王子南バイパスと一体となり、圏央道へのアクセス道路として、重要な役割を果たすため、都の取組と一体となって、これらのストック効果がより大きく発現できるよう、当該事業化区間に加え、日野バイパス、八王子南バイパスについても、必要な予算を確保し、整備推進を図るとともに、コスト削減に努めるようお願いする。

学識経験者等の第三者委員会の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
<ul style="list-style-type: none"> ・費用対便益：便益が費用を上回っている。 ・手続きの完了：都市計画変更手続き完了（H27.12）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	6.0 (2.4)	総費用 574億円 (事業費:525億円 維持管理費:49億円)	総便益 3,422億円 (走行時間短縮便益:3,257億円 走行経費減少便益:140億円 交通事故減少便益:24億円)	基準年 平成28年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=5.5 (交通量 -10%)	B/C=6.7 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=5.5 (事業費 +10%)	B/C=6.6 (事業費 -10%)		
事業期間変動		B/C=5.9 (事業期間 +20%)	B/C=6.0 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・通過交通の排除により、渋滞の緩和に寄与。		
		事故対策	○	・死傷事故率が軽減し、交通事故が減少。		
		歩行空間	○	・自転車専用レーンの設置により、歩行者導線との分離による歩行者の安全性向上に寄与。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	・救急搬送の速達性の向上に寄与。		
		地域経済	◎	<p>・物流の効率化により、日野市が目指す産業、商業等の立地等地域経済の活性化を支援。</p> <p>【平山工業団地→高尾山ICの所要時間（混雑時）】 現況：約33分 → 整備後：約16分（約17分の短縮）</p>		
		災害	◎	<p>・代替路線として、災害時のアクセス向上を支援。</p> <p>【南多摩医療圏における東京医大八王子位医療センターへの所要時間60分カバー人口】 ※南多摩医療圏→144万人（H22国勢調査より） 現況：125万人（87%）→ 整備後：144万人（全域をカバー）</p>		
		環境	-	・注目すべき影響はない。		
地域社会		-	・注目すべき影響はない。			
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画変更手続き完了（H27.12） ・八王子市長、日野市長により一般国道20号日野バイパス（延伸）Ⅱ期の早期事業化を要望。 				

採択の理由

費用便益比が6.0(2.4)と便益が費用を上回っているとともに、都市計画変更手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該区間の渋滞緩和や地域経済等への効果が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※B/Cの上段の値は日野市川辺堀之内から八王子市南浅川町を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。

新規事業採択時評価結果（平成29年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
・交通渋滞の緩和や地域間交流が促進され、物流機能の強化や地域産業活動の活性化および、地域の安心・安全性の確保に貢献するとともに、首都圏災害における緊急輸送道路の確保や高度医療施設との連携強化など、地域の防災機能向上に寄与するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	・沿線周辺は新たな拠点「みなみ野シティ」等が開発されているが、未事業化区間がミッシングリンクとなり、緊急時や災害に強い幹線道路ネットワークの構築が課題。 ・八王子市や立川市の第三次救急医療施設や、多摩地域の「こども救命センター」への救急搬送の速達性が低下。	※（都市づくりビジョン八王子・八王子交通マスタープラン（H27.3） ・沿線周辺は新たな拠点「みなみ野シティ」等が開発されているが、未事業化区間がミッシングリンクとなり、緊急時や災害に強い幹線道路ネットワークの構築が課題。 ・八王子市や立川市の第三次救急医療施設や、多摩地域の「こども救命センター」への救急搬送の速達性が低下。
住民生活	・国道20号の八王子市街地では、交通渋滞の発生による原因の追突事故が約4割。 ・通過交通が生活道路に流入することが懸念され、地域の安全性が低下。	※多摩部19都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（H26.12） ・日野バイパス（延伸）の整備にともない、土地区画事業などの基盤整備による利便性の向上により、広域的な連携が図られるとともに、地域における交通環境の改善や産業の連携強化により計画的な市街地を形成。
地域経済 地域社会	・国道20号の八王子市街地（八幡町～明神町）では、慢性的な渋滞（混雑度1.38）が発生しており、物流の効率化と速達性が低下。 ・八王子南バイパスや日野バイパス（延伸）の事業化区間が整備されても未事業化区間がミッシングリンクとなり、交通渋滞は改善されない。	※多摩部19都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（H26.12） ・首都圏をつなぐ環状方向の幹線道路や中央自動車道のアクセス向上により、広域的な連携が図られるとともに、地域における交通環境の改善や産業の連携強化により計画的な市街地を形成。
その他		

事業の有効性									
・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、本事業において、救急医療施設への速達性が向上するとともに、渋滞緩和による物流の効率化や地域の交通環境の改善に寄与するなど有効性の高い事業と評価する。									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	八王子市	日野市	1 (1)	1.00 [D] (1.00 [D])	1.00 [D] (1.00 [D])	▲0.29 (▲0.20)	0.09 (0.06)	0.00 (0.00)	○

事業の効率性									
・都市計画変更手続き完了（H27.12）									

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は日野市川辺堀之内から八王子市南浅川町を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。